

■ 確認問題 ■

1 [絶対値と数の大小] 次の問いに答えよ。

□(1) -1 , 1.5 , $-\frac{1}{3}$, 0 , $\frac{1}{2}$ について、次の①, ②に答えよ。

✎ 5 □① 絶対値の小さい方から順に並べよ。

✎ 4 □② 小さい方から順に並べよ。

✎ 5 □(2) 絶対値が3より小さい整数をすべて答えよ。

2 [正負の数の計算] 次の計算をせよ。

✎ 1 □(1) $5-12$

✎ 1 □(2) $-4-(-7)+(-1)$

✎ 1 □(3) $(-8)\times(-7)$

✎ 1 □(4) $8\div 6\times(-3)$

● ポイント ●

1 絶対値と数の大小

(1)① 絶対値は、 $+$, $-$ の符号を取り去った数である。

② 数直線上に表して調べる。負の数は、絶対値が大きいほど小さい。

(2) 絶対値は、数直線上では原点からの距離になる。

2 正負の数の計算

(2) カッコのない式になおすと、 $-4+7-1$

(3)(4) まず、答えの符号を決めて、絶対値を計算する。

1 □(5) $15 - 4 \times (-6)$

3 □(6) $-3^2 + 18 \div (-3)^2$

2 □(7) $-12 + (2 - 5) \times 6$

4 □(8) $4 - (3 - 2^3) \times 5$

3 【正負の数の利用】 次の表は、A～E 5人の生徒のテストの得点から80点をひいた値を示している。A～E 5人の平均点を求めよ。

生徒	A	B	C	D	E
得点-80(点)	-9	+4	-14	+11	-7

4 □

(5)～(8) 計算の順序に注意。

累乗 → ()の中

→ 乗除 → 加減の順

に計算する。

(6) -3^2 と $(-3)^2$ のちがいに注意。

$$-3^2 = -(3 \times 3)$$

$$(-3)^2 = (-3) \times (-3)$$


3 正負の数の利用


(平均点) = 80(点) + (80点との差の平均)


表から80点との差の平均を求め、これを80に加える。

練成問題

4 次の計算をせよ。

 **1** □(1) $7 + (-9) - (-12)$

 **2** □(2) $\frac{1}{6} - \frac{1}{3} + \frac{1}{2}$

 **3** □(3) $\frac{4}{5} \times \left(-\frac{5}{6}\right) \div \frac{2}{3}$

□(4) $3 \times (2 - 9) - 15 \div (-3)$

 **3**

□(5) $-\frac{3}{4} \div 1\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$

 **3**

□(6) $-4^2 \times 3 - (-2)^3$

 **3**

□(7) $32 \times \left(-\frac{7}{8} - \frac{3}{4}\right) - 19$

 **4**

□(8) $11 + \{-7 - (9 - 15) \div 2\}$

 **5**

□(9) $3 \times 2^2 + (1 - 3)^3 \div 4 - 1$

 **5**

5 次の問いに答えよ。

5 □(1) $\frac{2}{3}$, -2.5 , $\frac{3}{5}$, 2 のうち、絶対値が最も大きい数と、絶対値が最も小さい数との積を求めよ。

5 □(2) $-\frac{8}{3}$ と 3.2 の間には整数が何個あるか。

3 □(3) 数直線上で、 -3 からの距離が 5 である 2 数を求めよ。

5 □(4) 絶対値が 2 より大きく、 5 より小さい整数をすべて答えよ。

6 次の表は、A～F 6人の生徒の体重を、Cの体重を基準にして、基準より重いものを正、軽いものを負として、そのちがいを示したものである。これについて次の問いに答えよ。

生徒	A	B	C	D	E	F
基準とのちがい(kg)	+7	-5	0	+9	-8	+3

□(1) 最も体重の重い生徒と、最も体重の軽い生徒

2 との体重の差を求めよ。

□(2) Aの体重が 54kg のとき、6人の体重の平均を求

5 めよ。